

## VI 結核管理図

## “結核管理図”の今後の取扱いについて

これまで、結核研究所臨床・疫学部において作成された、自治体別の結核管理図を本冊子に掲載していましたが、結核研究所より令和3年から結核指標値として新しい形式で結核サーベイランスデータの還元を受けることとなったため、本冊子での結核管理図の掲載は終了することとします。

なお結核管理図の廃止理由は以下のとおりです。

- 1 これまでの結核管理図は29の指標値を設定し算出されていましたが、結核疫学状況の変化により、現在では不要な指標、また他に必要な指標が生じました。さらに、各地域の結核疫学像を把握するためには、より細かく、多くの指標が必要となりました。
- 2 これまでの結核管理図では、自治体や保健所間での比較を、偏差値をもとにして算出した基準化偏差として表示されてきましたが、結核低蔓延化によって、各指標値での分布が正規性や対象性からはずれるものが多く、基準化偏差の評価が必ずしも妥当とは言えなくなりました。
- 3 結核低蔓延化により、保健所によっては、新登録結核患者が1桁であるような場合もあり、割合(%)で算出されるような指標の年次変動が大きくなる場合があること、そのため、指標の評価には算出に用いた患者実数値の参照が必要となっていました。同様に単年ではなく過去数年間の値を参照しながらの評価が必要となりました。